

1. 長期経営計画『Progress2030』の概要

1 2030年の企業像

「グローバルに変化する社会と向き合い、社内外の知を融合することで、人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値を提供する企業グループ」

「培った信頼と磨き上げた技術により、情熱をもって未来を切り拓く、一流の挑戦者集団」

2 基本戦略

「独自技術の進化と深化、そして拡充による新分野への進出」

1) 情報通信 (ディスプレイ・半導体材料、無機コロイド、光機能性・センサー材料)

ディスプレイ・半導体材料、無機コロイドについては、市場の技術革新に即した製品を提供する。さらに、現有技術を活かしたセンサー材料、光制御技術の確立による光機能性材料を生み出す。

2) ライフサイエンス (農薬、動物用医薬品、医薬品、生体材料)

農薬・医薬品のパイプラインを充実するとともに、新たな動物用医薬品を開発する。また、生物評価と材料設計の技術蓄積をもとに、先進医療に貢献する生体材料を創出する。

3) 環境エネルギー (電池・環境発電・熱制御材料)

デバイス評価技術を構築し、電池材料およびエネルギーの有効利用に資する材料を供給する。

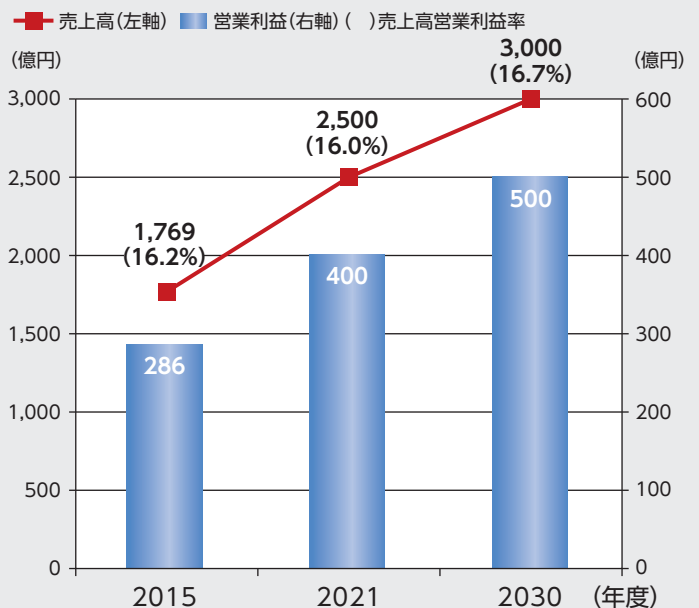
4) 基盤 (基礎化学品、ファインケミカル、関係会社)

封止材用等特殊エポキシテピック®関連の研究開発を推進し、新たな高機能化合物を上市する。

3 事業領域・事業規模

5つのコア技術をベースとする、「情報通信」、「ライフサイエンス」、「環境エネルギー」、「基盤」事業
売上高3,000億円、営業利益500億円の達成

売上高(2030年度)



2. 中期経営計画『Vista2021』の概要

—2016年度を初年度とする6カ年計画—

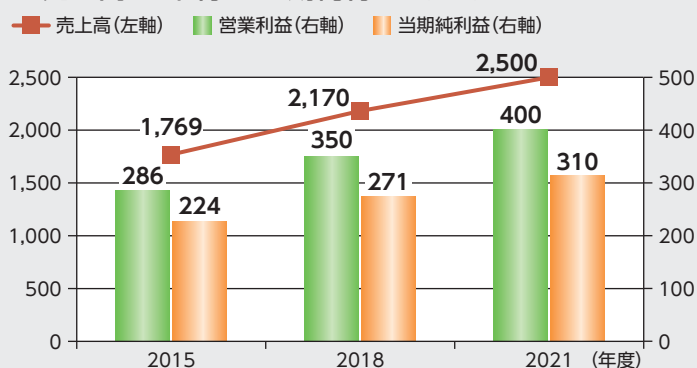
前半3カ年(2016–2018)をStageⅠ、後半3カ年(2019–2021)をStageⅡとする。

1 2021年のあるべき姿

「情報通信およびライフサイエンス事業が成長を牽引し、化学品と関係会社が安定的な収益を確保している」
 「環境エネルギー事業の礎を築き、常に前進する将来性と存在感のある化学メーカーとしての地位を確立している」

2 数値目標

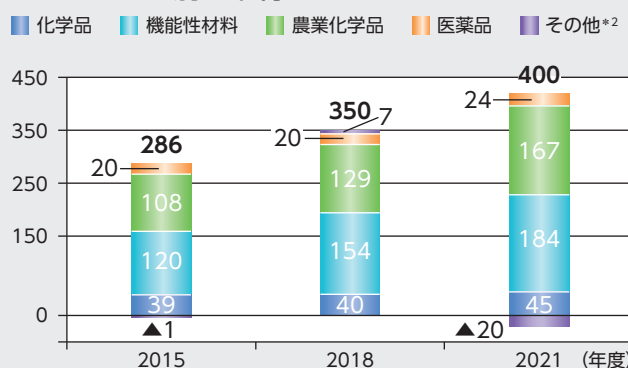
1. 売上高・営業利益・当期純利益*1(億円)



*1 親会社株主に帰属する当期純利益

ナフサ価格(円/kL): 2015年度 42,800円 2016年度 35,400円 2017年度以降 51,100円 為替レート(円/US\$): 2015年度 上期122円 下期118円 2016年度以降 115円

2. セグメント別営業利益(億円)

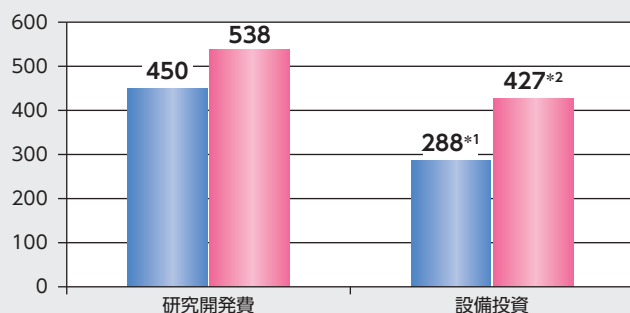


*2 その他: 卸売、その他、調整

3 研究開発費・設備投資

研究開発費・設備投資(億円)

■ 2013–2015年度合計 ■ 2016–2018年度合計



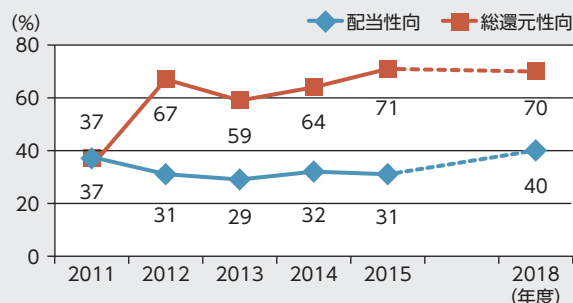
*1 検収ベース *2 稼働ベース

4 経営指標(2018年度目標)

売上高営業利益率	15%以上
ROE	14%以上
売上高研究開発費比率	8%以上

5 株主還元

配当性向	2016年度以降段階的に引き上げ、2018年度40%
総還元性向	70%の維持



『Progress2030』・『Vista2021』の詳細は
https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2016_05_12f.pdf
 に掲載しています。

3. 『Vista2021 StageI』の概要と進捗

1 基本戦略

- 1) 現有製品の利益の最大化 成長分野向け製品のシェアアップ、海外における事業展開の推進、コストダウン
- 2) マーケティング力の向上 顧客との密着度を高めることによる市場ニーズの把握、先端材料情報の入手
- 3) 研究開発力の強化 既存技術の磨き上げと新技術の確立、これらによる新製品開発の早期化

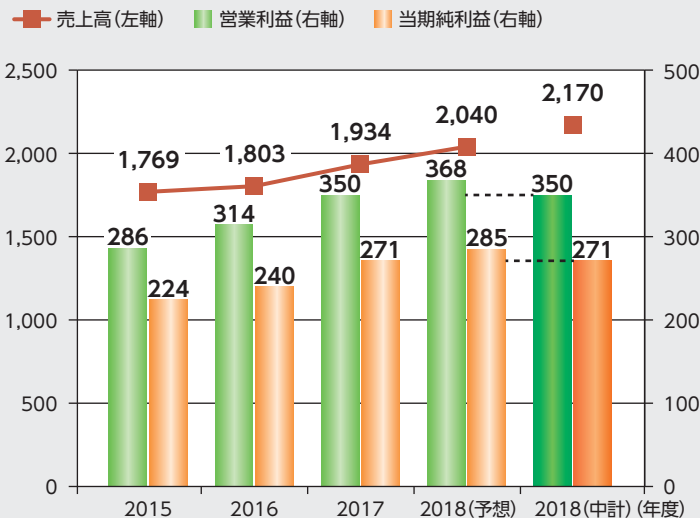
2 成長の源泉

売上高増加額 (2018年度 vs 2015年度)		10億円未満	10億円以上30億円未満	30億円以上
化学品		アドブルー® 高純度アンモニア	テピック®	
機能性材料	ディスプレイ		VA	光IPS
	半導体	3次元実装材料 (TMAT)、新規リソグラフィ材料		ARC® (半導体用反射防止コーティング材) 半導体多層材料
	無機コロイド		シェール掘削材料 (オイル&ガス分野)	
	新材料	有機EL関連材料 調光フィルム材料	イメージセンサー向け材料 ハイパーテック®	
農業化学品		新規殺虫剤 (自社) 新規導入品	ラウンドアップ® アルテア®	フルララネル 海外
医薬品		リパロ®原薬 (海外) 新剤導入・パイプライン充実	ファインテック®	

*売上高増加額は新中計策定時点での予想

3 2017年度実績・2018年度予想

1) 売上高・営業利益・当期純利益 (億円)



2) 経営指標

	2017年度実績	2018年度予想
売上高営業利益率	18.1%	18.0%
ROE	16.1%	15.8%
売上高研究開発費比率	8.9%	9.1%

3) 株主還元

	2017年度実績	2018年度予想
配当性向	37.7%	40.6%
総還元性向	70.7%	70%維持

4 基本戦略の進捗

1) 現有製品の利益の最大化

- ①フルララネル(動物用医薬品ブラベクト®の有効成分)の拡販
85カ国以上で販売しているイヌ用チュアブルタブレット(経口投与剤)に加えて、
欧米でイヌ用・ネコ用スポットオン(経皮吸収剤)を発売。鶏用ワクモ駆除剤
EXZOLT®を欧州・ブラジル等で販売開始。家畜用としての需要増加を見込み、
原薬の生産体制を強化。
*ブラベクト® およびEXZOLT®はIntervet International B.V.の商標です。



▲ブラベクト®ネコ用スポットオン

- ②ラウンドアップ®マックスロード ALⅢの発売
2018年3月一般家庭用「ラウンドアップ®マックスロードAL」シリーズにALⅢ
(速効+持続性タイプ)を追加。
- ③液晶表示用材料サンエバー®の伸長
スマートフォンなど中小型向けの顧客シェア拡大、テレビ向けの採用獲得。
- ④無機コロイドの用途拡大
シェールオイル・ガス採掘効率向上材 nanoActiv® HRTが北米30社で採用。
生産設備を増強。



▲シェールオイル採掘現場

2) マーケティング力の向上

- ①Nissan Agro Tech India PVT.LTD. 設立 (2017年9月営業開始)
大きな成長が見込まれるインドの農薬市場において現地パートナーとの協力体制強化による、販売支援と普及
サービスの充実、市場が求める製品開発の早期化。
- ②日産化学材料科技(苏州)有限公司設立 (2018年7月稼働開始)
中国ディスプレイ材料マーケットでの技術支援・顧客サービスを強化、市場ニーズに合致した製品開発。

3) 研究開発力の強化

- ①ペプチスター株式会社への出資
特殊ペプチドの新製造技術確立、医薬品受託製造事業の拡大、自社創薬・再生医療材料への展開を推進。

5 2018年度売上高にみる将来の成長エンジン

2018年度 売上高規模 ⁽¹⁾	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上9億円未満	合計
化学品	テピック®新製品(液状)(ファインケミカル)			1億円
機能性材料	ハイパーテック®(高屈折率)(ディスプレイ・その他) 調光フィルム材料(ディスプレイ・その他) 有機EL用ホール注入材(ディスプレイ・その他) 撥液バンク材料(ディスプレイ・その他) 位相差フィルム用配向材(ディスプレイ・その他) オルガノゾル(絶縁CTE)(無機・オルガノモノマーゾル) 新規高屈(IM用フィルム)(無機・その他)	3次元実装材料(半導体・その他) EUV下層膜(半導体・その他) CMOSイメージセンサー材料 (半導体・その他)	オイル&ガス材料 (無機)	26億円
農業化学品	ネクスター®(農業化学品・導入剤)	グレーシア®(農業化学品・自社開発) トランスフォーム™/エクシード™ (農業化学品・導入剤)		9億円
医薬品・その他	細胞培養培地材料 新規ジェネリック(ファインテック)	マキサカルシトール (ファインテック)		6億円
合計42億円				

*トランスフォーム™/エクシード™はザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標です。

(1) サンプル出荷に伴う試験費控除も含む